

ARUDINO、TynkerCAD統合試作の日本・マレーシア・タイ合同ワークショップ gPBL

実施期間	実施国	共同実施機関	対象	参加者	本学担当教員
2022年02月21日 ~2022年03月04日	日本	マレーシア・トウン・フセイン・オン大学 キングモンクット工科大学 ンプリ校	・機械機能工学科 ・学部1年生 ・学部2年生 ・学部3年生 ・学部4年生 ・修士1年生 ・修士2年生	(芝浦工業大学) 学生7名、学生バイト3名、 教員4名、職員2名 (マレーシア・トウン・フセイン・オン大学) 学生11名、教員1名 (キングモンクット工科大学 ンプリ校) 学生3名、教員1名	長澤 純人(機械機能工学科) 吉久保 肇子(先進国際課程) 橋 雅彦(先進国際課程) 斎藤 寛泰(機械機能工学科) 石崎 浩之(マレーシアサテライト オフィス)

Application fields of microrobot

SHIBAURA INSTITUTE OF TECHNOLOGY / Micro Robotics Lab., Dept. of Engineering Science and Mechanics

図1 講義風景1

本gPBLは、本学協定校のUTHM(マレーシア)、及びKMUTT(タイ)との3ヶ国合同ワークショップである。COVID-19の影響で渡航不可のため、前年度と同様にHyFlex方式で実施した。ワークショップは2部構成で行われ、第一部では、チームビルディング、自己紹介の練習、英語プレゼンテーションの準備、及び異文化紹介を行った。第二部はArduino、Tinkercadを使用したロボティクス組み込み演習を行った。また、オンライン実施という制約の中でも、日本文化への理解と関心を深めてもらうために、①日本のロボット文化と②日本の海外文化と技術の受容に関する講義を実施した。プログラム全体を通じて、組込みシステムの基礎知識の習得に加えて、日本・マレーシア・タイの学生間の交流を通じて、相互の文化理解と国際的な好奇心の活性化が図られた。参加者全員を対象に異文化コンピテンシー調査(MGUDS-S)も行った。プログラムの効果測定・分析については後日行う予定である。

図2 講義風景2

図3 講義風景3

- Hello, I am ... (プロフィール)
- My major is ... My personal interest is ... (現在、関心事)
- My Mid-Term goals is to be/do ... and my future goal is ... (今後の目標)
- When I will go to Bangkok, I want to go to ... (相手に対する関心、質問)
- When you come to Japan, I will bring you to ... (ガイド、日本紹介)

図4 講義風景4



図5 講義風景5



図6 記念撮影



図7 クロージングセレモニー